

12月定例会・議案など	2～3
12月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の一般行政視察	8
委員会等活動報告	8

令和4年10月5日から令和5年1月18日までの出来事を掲載しました。



タイトル：グラウンドに感謝
撮影者：木村 唯さん

表紙写真について、令和4年7月10日から令和5年1月10日までの期間で、2名の方から3点の写真のご応募がありました。ご応募いただきありがとうございました。表紙写真募集の次回の締切は令和5年7月10日です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

青森県市議会議員研修会が 3年ぶりに開催されました

令和4年10月5日(水)、青森県市議会議長会が主催する「令和4年度青森県市議会議員研修会」が平川市文化センターにおいて開催されました。

本研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年10月以来3年ぶりに開催され、県内10市から約130名の市議会議員が参加し、本市議会からは22名が参加しました。

当日は「議会が果たすべき役割 ～議事機関と立法機関の意義～」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所 ローカルマネージャー、招聘研究員 長内 紳悟 氏による講演が行われました。



平川市長によるご挨拶



研修会の様子

旭日小綬章を受章

このたび、町田藤一郎元議長が地方自治の発展と地域住民の福祉の向上等に多大な貢献をされた功労に対し、国から旭日小綬章が授与されました。

1月11日(水)、清野議長が町田藤一郎元議長のもとを訪ね、伝達を行いました。



町田藤一郎元議長(左)と清野議長

令和4年第4回定例会

市長提出議案 27件

【会期：令和4年11月25日(金)～12月20日(火)】

12月補正後の令和4年度予算

一般会計	908億5525万6千円
(12月補正額)	31億2920万1千円
特別会計	431億6306万7千円
(12月補正額)	1億4985万4千円

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第11号)

原油価格・物価高騰の影響を受けている事業者への支援に係る経費などを計上するほか、ふるさと納税寄附金の増額見込に伴い返礼品等に係る経費などを追加するものです。

また、継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額 26億6970万1千円

補正予算(第11号)から一部の事業をご紹介します

以下の事業は、事業費の全額について、国が交付する「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を財源とし実施されるものです。この臨時交付金は、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設されたもので、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、より重点的・効果的に活用される仕組みへと見直しが図られています。

◇社会福祉施設等原油価格・物価高騰緊急対策支援金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格や物価の高騰の影響を受けている社会福祉施設(高齢者施設、障がい者施設、幼児教育・保育施設等)等の負担を軽減し、安定的かつ継続的なサービスの提供を支援するため、支援金を交付

【1施設あたり給付額】

- ・訪問施設 10万円
- ・通所施設 定員数に応じて10万円から60万円
- ・入所施設 定員数に応じて30万円から80万円

◇交通事業者等原油価格・物価高騰緊急対策支援金

長期化している新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に加え、原油価格・物価高騰の大きな影響を受けている交通事業者等(高速バス事業者、貸切バス事業者、タクシー事業者、自動車運転代行事業者)に対し、原油価格・物価高騰緊急対策支援金を交付

【対象者・給付額】

- ・高速バス事業者 20万円/台
- ・貸切バス事業者 10万円/台
- ・タクシー事業者 5万円/台
- ・自動車運転代行事業者 2万円/台

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第12号)

新陳代謝・給与改定等に伴う報酬・給料・職員手当等の人件費などを追加するほか、出産・子育て応援給付金を給付するための経費を計上するものです。

補正額 4億5950万円

補正予算(第12号)から一部の事業をご紹介します

国は、全ての妊婦・子育て家庭がより安心して出産・子育てができるよう、令和4年度第2次補正予算において「出産・子育て応援交付金」を創設しました。以下の事業は、事業費の3分の2について国の交付金を財源としているものです。

この制度は、妊娠届出時から全ての妊婦・子育て家庭に寄り添う「伴走型相談支援」の充実、また、妊娠届出時及び出生届出後の合計10万円相当の「経済的支援」の取り組みを一体として実施する事業を支援するもので、令和4年4月以降に出産した全ての人が対象になっています。

◇出産・子育て応援給付金給付事業

妊娠の届出や出産の届出を行った妊婦等に対し給付金を給付

【給付対象】

- ①令和4年4月1日から令和5年3月31日までに
出産した者
- ②令和5年3月31日までに妊娠の届出し、令和5年4月1日以降に出産を予定する者

【給付額】

- ①10万円
- ②5万円



ヒロロ3階にある「ひろさき子育て世代包括支援センター」では、専門のスタッフが相談に応じ、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援を行っています。

○指定管理者の指定について

弘前市立中央公民館等の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

生涯学習や文化活動の拠点として多くのかたに利用されている弘前文化センターは、令和3年度から令和4年度にかけて、長寿化改修工事を行うため全館休館していましたが、工事を終え令和5年4月にリニューアルオープン予定です。



弘前文化センターと弘前市立中央公民館が併設されている
弘前文化センター（写真は改修前のものです）

請 願 1件

○貴議会での加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める決議採択の請願 …… 不採択

陳 情 2件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

○令和5年度私立幼稚園助成に関する陳情書

○民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情

一 般 質 問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



野村 太郎
(無所属)



病児・病後児保育事業について

問 事業の現状について問う。

答 現在、市が病児・病後児保育事業を委託している事業所は、小児科診療所に付設された病児保育室が1か所と、認定こども園に付設された病後児保育室が2か所の計3か所であり、1日当たりの利用定員は22名までとなっている。近隣市町村に居住する児童も含めて利用されており、令和4年4月から11月までの稼働

率は、病児保育室は57%、病後児保育室は15%となっている。市としては、安心して子供を産み育てることができる環境を整え、保護者の子育てと就労の両方を支援する上で重要な事業であると考えており、人口減少や少子高齢化が進展する中、子供や家庭の実態や子育て支援に関するニーズの把握に努めながら、成長段階に応じた切れ目のない支援施策のさらなる充実を図っていく。



石山 敬
(創和会)



弘前市民会館の指定管理者制度再導入について

問 前回の募集要項との変更点は。

答 弘前市文化芸術振興計画の目標達成に向けた施策や、課題項目の具体的な対応策を求める内容とし、市民、文化芸術団体、教育機関、文化施設、民間事業者等と連携・協働しながら、本市のみならず津軽圏域全体の文化芸術の振興と、文化都市としてのさらなる発展に資する、

より魅力的で優れた企画提案を幅広く募集することとした。

院内学級について

問 取組の状況は。

答 当市は弘前大学医学部附属病院と弘前総合医療センターに開設。令和4年11月末現在、弘前大学医学部附属病院では小学生7名、中学生2名が利用し、担当教員が病室等で学習指導をしている。

〈その他の質問項目〉○水田政策



鶴ヶ谷 慶市
(政心公明)



高照神社御宝蔵について

問 土蔵としては県内で最も古いと聞きますが、PRすることは考えているか。

答 文化財指定されている土蔵としては県内最古級と考えられ、神社の建物全体の歴史的価値について、隣接する高岡の森弘前歴史館等と連携し周知していく。

今年の嶽きみについて

問 8月の大雨等で収穫や良品も少なく収入的にも2分の1まで減収となる農家

もいるようだが、来年の生産に向けての支援策は。

答 大雨で農作物等の被害を受けた方々を対象に、農産物等被害証明書を発行し、市税等の徴収猶予や減免申請に係る手続等を行うとともに、当面の資金繰りとして融資機関から借入れした資金に係る利子助成を行う事業を措置する等、来年度以降の生産に希望を持って取り組むことができるよう後押ししている。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



石岡 千鶴子
(無所属)



ドメスティックバイオレンス（DV）・児童虐待の実態とその対応について

問 母親が父親に日常的に暴力を受けている環境の中で育った子供は、やがてその子も成人したとき、DV加害者になる可能性を秘めている。負の連鎖を断ち切り予防するため、学校教育のカリキュラムに入れるべきと考えるが。

答 令和5年度から専門の家庭相談員が出向き、予防的な教育や意識啓発を行う

ことを検討している。

「すぐやる課」の設置について

問 市政の最前線で率先して市民の困り事を聞く「すぐやる課」の設置をすべき。

答 新たな組織を設置するのではなく、現行体制における対応の充実を図りながら、どの部署も「すぐやる課」、ひいては市役所全体が「すぐやる市役所」であるよう、職員一人一人が意識し、対応することが大切であると考えている。



竹内 博之
(さくら未来)



今冬の雪対策について

問 今冬の対策を伺う。

答 市民開放型の雪置き場を積雪状況や市民からの要望に応じていつでも開設できるように、準備を整えている。

生活保護の扶養照会について

問 生活保護の申請に当たり扶養照会が大きなハードルとなっているようだが、市の対応や見解を伺う。

答 従前から扶養照会が不要と例示され

たケースだけでなく、申請時の聞き取りで個別に要保護者の事情を勘案している。特別な理由で明らかに扶養援助が期待できない扶養義務者へは照会を控えており、扶養照会が支障となり生活保護を辞退するケースはほとんどないとする。市の「生活保護のしおり」は現在、場合により扶養照会が不要との記載がなく、次回改訂版で改善する予定。今後も申請者の気持ちに寄り添う等適切に対応する。



蒔苗 博英
(創和会)



コロナ禍における教育実態等について

問 小・中学校の状況と対策は。

答 令和4年1月以降、感染症の主流がオミクロン株に置き換わったことを受け、感染者が1名判明した場合でも、原則、学級閉鎖の措置を講じており、措置を講じた学校数は、市立小・中学校全学級の約3割に当たる34校154学級となっている。教員が罹患した場合は、別の教員が授業を行うなどの工夫で対応している。

次世代に残したい弘前公園の桜について

問 桜の現状と今後の方針を伺う。

答 市では、以前のような桜のボリュームを感じてもらえるよう、目線の高さで多くの花を咲かせるための剪定方法について検討を始めている。弘前方式として確立された剪定方法を継承しつつ、技術の進歩を図っていくことにより、次の世代においても多くの人々を魅了し、感動してもらえる桜となるよう努める。



樋川 篤子
(さくら未来)



教育行政について

問 ICT活用とオンライン授業の可能性について。

答 ICT機器の活用は、個別最適な学びを提供するための有効な手段であり、積極的に推進する。一方、オンライン授業は、文部科学省の方針においても一定の要件を満たす場合に限定しており、現状では難しい。今後も、ICT機器をより効果的に活用できるよう一層の工夫改

善を図り、児童生徒と家庭からの個別の相談や学校からの要望に対応しながら、対面授業を基本とした教育活動を進める。

健康都市弘前について

問 「まちかつ弘前³C」はどのような組織か。

答 弘前大学とのさらなる連携強化の皮切りとして、「健康都市弘前」の実現に向けた定期的な懇談を目的に、弘前大学と市により設立したものである。



佐藤 哲
(櫻鳴会)



7月、8月の豪雨を振り返ってみた岩木山麓りんご園の今後の対応策について

問 豪雨被害を受け、未舗装の農道についてどのような対応策を考えているか。

答 中長期的な目線で災害が起こりにくい環境づくりを推進していくため、今般被害があったような急勾配の未舗装の農道について、長期間安全に通行可能となるよう、アスファルトやコンクリートによる舗装整備を行うことも重要と考えて

いる。このような舗装整備について、市の小規模農道整備事業のほか、国の補助事業も活用可能であることから、これらの補助事業の情報提供を行うほか、農業者からの整備要望を待つだけでなく、整備すべき路線や地区等を市から積極的に提案していけるような取組も試行的に展開していきたい。引き続き関係機関と連携を図り、農業生産を行う上で必要な生産基盤として農道の整備を推進していく。



千葉 浩規
(日本共産党)



学校給食について

問 青森市が学校給食費の無料化に踏み出し、県内の完全無料化自治体数が40自治体中14となる中で、当市の学校給食の無料化への考えについて答えよ。

答 令和5年4月から、市内の高校生までの子供医療費完全無料化を実施することで保護者の経済的負担の軽減を図ることとしており、給食費の無料化は厳しいものと考えている。来年度についても、

今年度同様、できる限り保護者の負担を増やすことなく、質や量を保った学校給食を提供できるよう、献立の創意工夫により給食食材費の圧縮に努めるとともに、国からの交付金など有利な財源の積極的な確保に努める。

〈その他の質問項目〉

- 上下水道事業におけるインボイス対応
- 除排雪
- 高齢者の生活支援（補聴器購入費助成、高齢者タクシー料金助成）



成田 大介
(無所属)



高齢者世帯の雪対策について

問 今後の展望を問う。

答 市は、市社会福祉協議会が地区社会福祉協議会と連携して行う除雪支援事業に対し、上限100万円の補助金を交付している。除雪支援事業は地区社会福祉協議会が主体で除雪困難世帯の間口除雪を行うもの。市社会福祉協議会は地区社会福祉協議会への助成を1,000円増額したと伺っている。新たな担い手確保につい

ては、ひろさきボランティアセンターで市民の積極的な参加を促し、支援する。また、市は、町会等が行う地域の除雪活動への支援を通じて、高齢者世帯への雪対策を進めてきた。間口の寄せ雪処理等については、民間企業のマッチングサイトでの有償サービスが始まっている。これらのサービスをホームページ等で紹介し、普及を図ることで地域での新たな共助の創出につながるものと期待している。



竹浪 敦
(創和会)



市内の避難所体制について

問 8月の豪雨災害における対応と今後の取組を問う。

答 8月9日からの大雨では、市が開設した指定避難所まで距離があったため、近隣の町会施設などを町会が自主的に避難所として開設したケースがあった。市では、そのような自主避難所に対しても、物資提供などの支援を行うことや、指定避難所の見直しを行うことなどについて、

町会と協議を進めているところである。

民生委員・児童委員の活動について

問 なり手不足に対する市の対応は。

答 市では、なり手不足への対策として、県に対し、民生委員活動費の増額を要望してきたほか、市独自に活動費を上乗せし、活動に対する金銭面からの支援を行うなど、各種負担の軽減を行い、民生委員一人一人が安心して活動できる環境づくりに今後もしっかりと努めていく。



松橋 武史
(櫻鳴会)



旧百沢小学校の利活用の見通しについて

問 どのような見通しを持っているか。

答 岩木地区は、弘前大学COI-NEXTに参画する企業が研究を進める場として、親和性の高いものと思っている。このことから、当該企業の研究拠点等としての利活用も視野に入れ、今後は、弘前大学と連携しながら、検討を進めたい。

消防屯所の建て替えの見通しについて

問 共同利用した場合のメリットは。

答 財政面で負担軽減が図られ、また、2つの分団の連携による、より効果的な災害対応ができることなどが挙げられる。

青森県に対する重点要望事項について

問 最重点要望への県からの回答状況は。

答 緊急かつ重点的に取り組む必要がある最重点要望事項に関する過去4年間の回答内容をみると、実施するとの回答は15%で、必ずしも本市が希望する回答は得られていない状況である。

令和4年第4回定例会日程 (26日間) ○傍聴者の数：28人

11月25日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	12月13日(火) 常任委員会	予算決算
11月26日(土)～12月5日(月)	議案熟考	12月14日(水)～12月19日(月)	議事整理
12月6日(火)～12月8日(木)		12月20日(火) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
12月9日(金) 本会議	一般質問		
12月12日(月) 常任委員会	一般質問、議案付託		
	経済文教、建設、総務、厚生		

令和4年は延べ92人が傍聴しました。日程をご確認の上、傍聴にお越しの際は、感染症拡大防止対策へのご協力をお願いします。





木村 隆洋
(創和会)



「健康都市 弘前」の実現に向けた取組

問 具体的な取組や、市が参画する弘前大学COI-NEXTでの役割を伺う。
答 市民一人一人が生き生きと活躍する「ひとの健康」や、健康医療産業の誘致等で雇用の場が確保され、所得も向上する「まちの健康」を重視したまちづくりに取り組み、両立を目指す。現在、市総合計画後期基本計画の策定作業中で、健康都市弘前の実現を基本方針の柱に据え、

リーディングプロジェクト等を着実に実施していく。市や県、他大学や民間企業が参画する弘前大学COI-NEXTの取組は、市が目指す健康都市弘前の考えと合致しており、幹事自治体として責任を持ち取り組む。QOL健診の展開支援等の取組は健康とまちのにぎわい創出事業等により既に着手。今後も弘前大学と連携し、地域の活力も最大化する新しい地域社会モデルを構築していく。



石田 久
(日本共産党)



国民健康保険について

問 国保料引下げについて。
答 令和5年度以降の保険料率検討に当たり、負担の緩和を念頭に、適正な保険料水準、保険料率の引下げの検討に臨んできた。弘前市国民健康保険運営協議会から答申を受けた保険料率改定の主な内容は、所得に対して賦課される所得割の料率を合計で1.7ポイント程度引き下げることであり、改定幅は令和3年度に実

施した引下げと比較し、3倍以上となる。原油価格の高騰等に伴う物価高の影響が特に大きいと思われる一定の事業収入・所得があり、それに対し保険料が賦課されている中間所得層を支援することが主眼となっており、保険料の引下げが市民生活の支援につながると考えている。このことから、保険料率を引き下げることとし、令和5年第1回市議会定例会に国民健康保険条例の改正案を提出する予定。



坂本 崇
(櫻鳴会)



ウィズコロナ・アフターコロナの観光施策について

問 インバウンド施策について。
答 一気に高まることが予想される訪日旅行の需要に、津軽圏域の市町村とも連携を図りながら、積極的な海外への情報発信や情報収集を継続する。長期滞在のための新たなコンテンツの拡充と受入体制の強化を図り、観光消費の拡大につなげ、地域経済の活性化に努めていく。

問 多様なガイドの養成について、今後の展望を伺う。
答 市としては、「質の高いガイドができる人材育成」と「ガイドが活躍できる機会の提供」を図っていくことを目的に、来年度において、「(仮称)ひろさきガイド学校」の創設を目指し、各ガイド団体や観光事業者と連携しながら、持続的にガイド人材を確保、育成、活用していく仕組みづくりを進めていく。

弘前市議会ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

検索



弘前市議会 会議録

検索

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。
 請願は、○は採択、●は不採択。
 欠は欠席、-は採決に加入らなかったもの。
 議長（清野一榮）は採決に加入していません。 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案等名	採決結果	樋川篤子	竹浪敦	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英	松橋武史
弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○
弘前市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○
貴議会での加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める決議採択の請願	不採択	●	●	●	○	●	●	欠	●	●	○	●	●	●	●	●



外崎 勝康
(政心公明)



**3歳児・5歳児健診における発達障がい
の対応について**

問 具体的な検査実態等について伺う。
答 令和3年度実績は、3歳児健診の対象者1,247人中、受診者1,170人、未受診者77人。5歳児発達健診の対象者1,230人中、1次健診受診者1,122人、未受診者108人。1次健診受診者のうち2次健診対象者は189人で、受診者136人、未受診者53人となっている。

気象防災アドバイザーについて

問 アドバイザーの設置等について伺う。
答 災害対応の体制等を見直す中で、国・県等の動向等を情報収集していく。
9価HPVワクチンの定期接種について
問 市民への情報提供に関し所見を伺う。
答 国で令和5年4月1日から定期接種化の方針が示された。国の動向を注視し、定期接種化が決定した場合、その効果や安全性も含め、きめ細かな周知に努める。



今泉 昌一
(さくら未来)



地域交通政策について

問 弘南鉄道大鰐線について、一民間企業に税金を投入する以上、厳しい視点も必要である。令和5年度末の収支状況を見て、今後の支援策を検討することのだが、存廃を含めた検討なのか、存続を前提とした検討なのか。
答 現時点において、大鰐線の令和8年度以降の在り方については、支援計画に基づき、当市と大鰐町で幅広い視点から、

様々な可能性について協議することになるものと思っている。
市内のみならず、弘前圏域の交通ネットワークを構成する重要な基幹的路線である弘南鉄道弘南線及び大鰐線を維持できるように、県や圏域市町村と一体となって国に一層の支援を働きかけていくとともに、各種関係団体等とも連携し、利用促進を図るなど維持活性化に取り組んでいく。



齋藤 豪
(櫻鳴会)



当市の働き方改革について

問 産休・育休について。
答 市では、職員の育児休業取得を推進するため、育児休業代替任期付職員を配置し、職員が安心して育児休業等を取得できる環境づくりを進めてきた。今年度からは、より産前産後休暇や育児休業を取得しやすく、円滑に職務へ復帰できる環境整備を進めるため、「出産・育児に係る職員支援プログラム」の運用を開始し、

「育児休業等取得前」、「職務復帰前」、「職務復帰時」に分け、必要な支援等を実施。また、当市における直近3か年の育児休業取得率は、全国平均を上回る水準で推移しており、さらに、今年度の男性職員の取得率は、11月末時点で61.5%と前年度実績を上回る状況となっている。
〈その他の質問項目〉
○農業行政（8月の大雨災害、スマート農業） ○岩木川の水質



工藤 光志
(無所属)



市長の政治姿勢について

問 下水汚泥堆肥活用について伺う。
答 既に汚泥の肥料化に取り組んでいる他市において、一定の成果が得られているものと認識している。県でも、「汚泥有効利用施設」の整備に着手し、令和8年度の施設供用開始を目指しているとのことで、大変期待を寄せている。下水汚泥の肥料化は、農業者等の肥料購入に係る費用負担の軽減や地域循環型社会の実

現、環境負荷低減等に有益だが、市内には汚泥肥料を活用したことがない農家も多く、肥料としての効果等が十分に認識されていないことも事実である。市としては、汚泥肥料を初めて活用する農家が抵抗感なく利用できるような初期導入の後押しや、安全性、肥料としての効果、環境負荷低減に資することなどの周知等について、県や周辺市町村、農業関係団体等とも連携しながら、検討していく。

今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	●	○	○	欠	○	—	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	欠	○	—	○	○	○
●	●	●	○	○	●	●	欠	●	—	●	●	●

令和4年第4回定例会審議結果
※議会での慎重審議により、可決となりました。

市長提出議案：27件
 予算関係：13件、条例関係：8件、
 その他：6件

会派一般行政視察

政心公明

令和4年10月17日(月)～19日(水)

- ①福井県敦賀市
 - 赤レンガ倉庫整備事業について
- ②大阪府岸和田市
 - 岸和田丘陵地区のまちづくりについて



岸和田市(丘陵土地区画整理組合)にて

創和会

令和4年11月14日(月)～16日(水)

- ①北海道小樽市
 - 生活困窮者自立支援事業について
- ②北海道札幌市
 - 子ども発達総合支援センター「ちくたく」について
 - 札幌市図書・情報館について



小樽市役所にて

さくら未来・無所属(成田大介)

令和5年1月17日(火)～18日(水)

- ①茨城県取手市
 - 議会改革について



取手市役所にて

委員会等活動報告

ひろさき市議会だより 編集特別委員会

- 10月25日(火) 市役所
 - ①掲載内容について
- 12月20日(火) 市役所
 - ①掲載内容について
 - ②編集日程について
 - ③その他

議員全員協議会

- 12月20日(火) 市役所
 - ①弘前市総合計画後期基本計画素案について

経済文教常任委員会

弘前商工会議所との懇談会

- 11月9日(水) 弘前商工会議所
 - ①アフターコロナにおける市内の商工業について



弘前商工会議所との懇談会の様子

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。
※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

議会を傍聴 しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、本会議及び委員会等の傍聴については、マスクの着用や手指のアルコール消毒など、感染症対策にご理解とご協力をお願いいたします。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- | | | |
|------------|----------|--------------------|
| (2月10日(金)) | 議会運営委員会 | 会期日程等の協議 |
| 2月17日(金) | 開会日(本会議) | 開会、会期の決定、提案理由の説明 |
| 3月16日(木) | 閉会日(本会議) | 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会 |

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、電話・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。(連絡先は右上にあります。)

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和5年7月10日(月)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和5年9月発行予定の第75号



ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。